平成29年度 学校教育自己診断分析

保護者の協力により、66%という高い回収率となったことに感謝している。以下の説明において、質問文の先頭に付している番号は、生徒用の質問番号である。保護者と教職員においては同趣旨の質問文の場合は省略し、生徒にない質問文を記す場合は、保護者は[保]、教職員は[教]という文字を付けている。回答結果の変化は、必要に応じて H28→H29 年度の形式で記載している。

<学校生活>

- ・「1.学校へ行くのが楽しい」:生徒 80%→76%・保護者 84%→83%、「2.学校に信頼できる友達がいる」:生徒・保護者とも 92%→92%の肯定であった。
- ・「21.クラスには話しやすい雰囲気がある」:生徒 86%→84%、「保 13.学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きとしている」:保護者 88%→81%の肯定であった。

<学習活動>

- ・「11.興味・関心、適性・進路希望に応じて選べる選択科目が多い」:生徒 91%→85%、「3.自分の学力にあった授業が多い」:生徒 76%→77%の肯定であった。総合学科の特徴である多数の選択科目の授業があることで、大学進学等に向けて学力に応じた科目選択や、きめ細かな対応ができる少人数制、自分の興味・関心と適性・進路希望に応じて選択できることが表れている。
- ・「14.学校の授業以外に、平均すると1日1時間以上学習している」:生徒 50%→51%、「12.勉強と部活動の両立ができていく」:生徒 63%→60%、保護者 75→71%の肯定であった。勉強と部活動の両立に留意しながら、早期からの意識付けや工夫に取り組んでいく必要がある。

<キャリア教育>

- ・「19.将来の進路や生き方について考える授業や行事がある」:生徒 86%→81%、「20.進路についての情報をよく知らせてくれる」:生徒 86%→78%、「保 8.将来の進路や職業理解について適切な指導を行っている」:保護者 89%→86%の肯定であった。

<生徒指導>

- ・「15.学校生活についての先生の指導には納得できる」:生徒 42%、「保 12.学校の生徒指導の方針に共感できる」:保護者 71%の肯定であった。さまざまな場面で生徒に寄り添いながら丁寧に対応し、納得感のある生徒指導を行っていくことに、全教職員で取り組んでいかなければならない。

<施設設備>

- ・「29.自分は学校で清掃をきちんと行っている」:生徒 89%の肯定で、どの学年の生徒もしっかり取り組んでいる。
- ・「32.学校の施設・設備に満足している」:生徒 44%の肯定であった。建物が古いことに加えて、11月から3月初めまでの約4ヵ月間、2号館トイレ改修工事により、別の校舎に行かなければならない状態であったが、ようやく新しいトイレが使えるようになった。

<情報提供>

- ・「31.学校のホームページを見ることがある」:生徒 30%、保護者 65%の肯定であった。現在のホームページは外部への情報提供が中心となっていて、在校生向けの掲載が少ないこと、更新回数が十分でないことが表れている。各ブログは4~1月に146回更新したが、ホームページ本体の更新が少なかった。
- ・「保 28.学校のホームページや携帯電話メール配信の内容は適切である」:保護者 93%→90%の肯定であった。
- ・「教 37.教育活動に必要な情報について、生徒・保護者への周知に努めている」:教職員 95%→94%の肯定であった。